

平成22年度定期作況報告

5月20日現在
北海道立根釧農業試験場

気象概況

前年11月から本年5月中旬までの気象の経過は平年に比べておおむね次の通りである。

平成21年

11月：気温は全ての旬で平年並であった。降水量は上旬で平年並、中旬で多く、下旬で少なかった。

日照時間は全ての旬で平年並であった。

12月：気温は上旬で高く、中・下旬で平年並であった。降水量は上旬でやや多く、中旬で平年並、下旬で極めて多かった。日照時間は上・下旬で平年並、中旬で多かった。根雪始は12月18日で平年より11日遅かった。

平成22年

1月：気温は上旬で高く、中・下旬で平年並であった。降水量は上旬でやや多く、中・下旬でやや少なかった。日照時間は上旬でやや少なく、中旬で平年並、下旬でやや多かった。

2月：気温は上旬でやや低く、中旬で平年並、下旬で高かった。降水量は上・下旬で平年並、中旬でやや少なかった。日照時間は上・中旬で平年並、下旬で少なかった。2月20日の土壤凍結深は20cmで平年と同値、積雪は63cmで平年より2cm多かった。

3月：気温は上・中旬で平年並、下旬で低かった。降水量は上旬でやや多く、中旬で平年並、下旬でやや少なかった。日照時間は上・下旬で平年並、中旬でやや多かった。

4月：気温は上・中旬で平年並、下旬で低かった。降水量は上旬でやや少なく、中旬で極めて多く、下旬で平年並であった。日照時間は上・下旬で平年並、中旬でやや多かった。根雪終は4月12日で平年より3日遅かった。

5月上旬：最高および最低気温は15.2および3.4 で、それぞれ平年より1.8および1.4 高かったため、平均気温は9.3 で平年より1.6 高かった。降水量は57mmで平年より28mm多かった。日照時間は59.5時間で平年より9.8時間多かった。

5月中旬：最高および最低気温は13.6および3.8 で、それぞれ平年並であったため、平均気温は8.7 で平年並であった。降水量は28mmで平年並であった。日照時間は55.4時間で平年並であった。

各旬の気象の特徴は上記の通りであるが、全旬を平均すると寒候期の気温、降水量・日照時間は平年並であった。

平成22年度 気象表

年	月	旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(時間)		
			本年	平年	差	本年	平年	差	本年	平年	差	本年	平年	差	本年	平年	差	本年	平年	差
21	11	上旬	6.2	5.4	0.8	11.6	11.1	0.5	0.8	-0.4	1.2	18	20	-2	3	3.3	-0.3	52.9	45.6	7.3
		中旬	2.0	2.1	-0.1	5.9	7.5	-1.6	-2.0	-3.3	1.3	54	26	28	5	3.4	1.6	41.9	47.8	-5.9
		下旬	0.1	0.2	-0.1	5.3	5.5	-0.2	-5.1	-5.2	0.1	4	25	-21	2	3.0	-1.0	50.6	55.0	-4.4
	12	上旬	-1.2	-3.5	2.3	3.0	1.9	1.1	-5.3	-8.8	3.5	28	18	10	1	3.0	-2.0	39.7	48.3	-8.6
		中旬	-5.2	-5.3	0.1	0.1	0.3	-0.2	-10.5	-10.8	0.3	23	19	4	3	3.6	-0.6	71.0	48.7	22.3
		下旬	-5.6	-6.4	0.8	-0.1	-0.7	0.6	-11.1	-12.0	0.9	53	20	33	7	3.6	3.4	51.5	53.2	-1.7
22	1	上旬	-4.1	-6.4	2.3	0.6	-0.8	1.4	-8.8	-12.0	3.2	35	23	12	3	2.9	0.1	34.9	48.4	-13.5
		中旬	-8.5	-8.0	-0.5	-1.6	-2.3	0.7	-15.3	-13.7	-1.6	2	16	-14	3	3.1	-0.1	58.0	52.4	5.6
		下旬	-8.2	-8.3	0.1	-0.3	-2.3	2.0	-16.0	-14.4	-1.6	5	19	-14	2	3.8	-1.8	72.6	54.4	18.2
	2	上旬	-10.2	-8.5	-1.7	-3.3	-2.3	-1.0	-17.0	-14.7	-2.3	11	6	5	4	2.0	2.0	53.1	61.0	-7.9
		中旬	-9.4	-8.5	-0.9	-2.9	-2.2	-0.7	-15.9	-14.8	-1.1	3	18	-15	1	2.5	-1.5	59.8	57.4	2.4
		下旬	-2.8	-6.6	3.8	2.0	-0.7	2.7	-7.5	-12.5	5.0	4	11	-7	3	2.3	0.7	30.6	51.9	-21.3
	3	上旬	-5.2	-5.2	0.0	-0.5	0.7	-1.2	-9.8	-11.0	1.2	28	14	14	2	3.4	-1.4	56.0	60.4	-4.4
		中旬	-2.5	-2.4	-0.1	3.7	2.6	1.1	-8.6	-7.4	-1.2	14	20	-6	3	3.5	-0.5	69.1	54.6	14.5
		下旬	-3.0	-0.3	-2.7	2.7	3.7	-1.0	-8.6	-4.2	-4.4	23	35	-12	5	4.6	0.4	59.1	53.7	5.4
	4	上旬	1.8	1.2	0.6	6.2	5.7	0.5	-2.6	-3.3	0.7	11	24	-13	3	3.8	-0.8	52.4	54.8	-2.4
		中旬	3.2	4.0	-0.8	8.5	9.2	-0.7	-2.1	-1.2	-0.9	67	22	45	3	4.1	-1.1	65.2	52.5	12.7
		下旬	2.8	5.6	-2.8	7.1	11.0	-3.9	-1.6	0.2	-1.8	51	47	4	3	4.2	-1.2	59.7	54.1	5.6
	5	上旬	9.3	7.7	1.6	15.2	13.4	1.8	3.4	2.0	1.4	57	29	28	3	3.8	-0.8	59.5	49.7	9.8
		中旬	8.7	9.1	-0.4	13.6	14.5	-0.9	3.8	3.6	0.2	28	29	-1	5	4.3	0.7	55.4	49.3	6.1

備考)データはアメダス観測値(中標津).平年値は前10ヵ年平均値.

当场作況

1.とうもろこし

作況： -

事 由

断続的な降水により、5月20日現在、播種は行われていない。なお、播種期の平年値は5月24日である。

品 種 名	播種期（月日）		
	本年	平年	比較
たちぴりか	-	5.24	-

注1)根釧農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2)作況調査品種は本年度から「たちぴりか」に変更した。

3)「たちぴりか」は過去のデータが前5カ年分しかないため、「平年」は前5カ年全ての平均値とした。

2. 牧草

(1) 採草型

チモシー単播

作況：1 番草 やや不良

事 由

萌芽期は2年目草地で平年より4日遅く、3年目草地では平年より9日遅かった。冬損状態は2年目草地では平年並みであったが、3年目草地では雪腐大粒菌核病が発生し、その程度は平年より大きかった。5月20日現在のチモシー草丈は平年より2年目草地で4cm高く、3年目草地では逆に5cm低かった。

2年目草地では4月下旬の低温により萌芽がやや遅れたが、その後の降水と気温が高めに推移したため、5月20日時点では生育は平年並みに追いついたと考えられる。一方、3年目草地では雪腐大粒菌核病の発生により萌芽が遅れたため、5月20日現在の草丈がかなり低くなった。

以上から、目下の作況はやや不良と判断される。

草地	草種	萌芽期(月日)			冬損状態(1-5甚)			5月20日草丈(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「ノップ」2年目	TY単播	4.29	4.25	4	1.5	1.3	0.2	37	33	4
「ノップ」3年目	TY単播	5. 5	4.26	9	3.0	1.4	1.6	27	32	5

注1) 根釧農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) 平年値：TY単播の2年目草地は平成15～21年のうち、最凶年と最豊年を除く5ヵ年平均値。
TY単播の3年目草地は平成16～21年の6ヵ年平均値。

3) は減を示す。

(2)放牧型

オーチャードグラス単播

作況：1番草 やや不良

事 由

萌芽期は2年目草地では平年より2日遅く、3年目草地では平年より9日遅かった。冬損状態は2年目草地では平年並みであったが、3年目草地では3.5と平年より大きかった。5月20日現在の草丈は2年目草地では平年より4cm高く、3年目草地では3cm低かった。

2年目草地では冬損が平年並みであったため、平年並みの生育を示したが、3年目草地では冬損が大きかったため、生育が遅れている。

以上から、目下の作況はやや不良と判断される。

草地	草種	萌芽期(月日)			冬損状態(1-5甚)			5月20日草丈(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「カミドリ」	2年目 OG	4.30	4.28	2	2.0	1.9	0.1	31	27	4
「カミドリ」	3年目 OG	5.5	4.26	9	3.5	2.2	1.3	22	25	3

注1) 根釧農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) 平年値：OG単播の2年目草地は平成15～21年のうち最凶年と最豊年を除く5ヵ年平均値。
OG単播の3年目草地は平成16～21年の6ヵ年平均値。

3) は減を示す。

平成 22 年度作況調査供試作物、品種および耕種概要

供試作物 および 品種名	1 区 面積 (m ²)	施 肥 量 (kg/10a)						栽 植 密 度		
		堆肥	炭	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	畦幅 (cm)	株間 (cm)	播種量・播種株数
1. サイレージ用 とうもろこし 「たちぴりか」	11.5	4,000	200	8+4	20	6+4	2.5	72	18	7,716 本/10a
2. 牧 草 (1) 採草型 TY「ノサップ」(単播)	14	4,000	300	10 (1 年 目)	23 8	14 17	9 4 (2 ・ 3 年 目)	30	単播条播	TY:2,000g/10a
(2) 放牧型 OG:「オカミドリ」(単播)	14	4,000	300	10 (1 年 目)	23 8	14 17	9 4 (2 ・ 3 年 目)	30	単播条播	OG:2,000g/10a

注) 1)サイレージ用とうもろこしは品種比較試験または系統適応性検定試験の圃場。

2)牧草は2・3年目草地を調査。採草型は年2回、放牧型は5回(各月1日)の刈取り。